

サンセイランディック大阪便り Vol.52

平成28年6月号

不動産 よもやま話

北海道と沖縄以外では梅雨入りを迎える6月、やはり今月のイメージは雨でしょうか。ゴールデンウィークのあった5月と夏休みの始まる7月の間、忘れられがちな「父の日」以外（ミサレ）、特に何も無いジメジメした月。それに加えて6月には祝日が無い！かつて漫画ドラえもんで、のび太が6月に祝日が無い事を嘆き、ドラえもんの秘密道具で祝日を作ってほしいと頼みました。そんな無理難題を聞き入れたドラえもんは、6月2日に祝日を作ってしまおうのですが、この日をのび太は「勤労感謝の日があるんだから、ぐうたら感謝の日とでもするか。」と一日ぐうたらする日と名付けます・・・本当にそんな日があれば良いと思うのは、このジメジメした天気の子で気分も優れないからかもしれませんね。梅雨明けが待ち遠しい・・・！さて、今月の話題は今人気の「古民家」について。

昨今の少子高齢化の進行や都市部への人口収集などにより、空き家の増加が問題となっていますが、空き家となった古民家のデザインや優れた機能は生かしつつ、現在に必要な機能をプラスして、再び生き返らせる「古民家再生」が静かなブームとなっています。今の時代に快適に暮らせるように改修を施された古民家は、住宅の他に宿泊施設、カフェやギャラリーなどの商業施設として活用され、若い人達の間ではその古き良き佇まいが、かえって新鮮に映っているようで人気です。また多くが自然豊かな場所にあるので「夏休みにおじいちゃん、おばあちゃんの家遊びにきた」気分になれるということで、全国各地に古民家宿泊スポットが増えています。さてその「古民家」ですが、世界遺産レベルのものから、明治期の庄屋のお屋敷、職住を兼ねた町家など様々ですが、一般的には築50年以上たった民家の事を言う例が多いようです。建築様式も様々で、それぞれの土地の歴史や文化にあった伝統的な様式で建てられており、そこに惹かれる人も大勢いるそうです。共通するのは、伝統的な建築構法の風格ある外観や、地元で育った木材の柱や梁、漆喰壁などが醸し出す温もりのある、まさに日本の住文化を感じられるところでしょう。また周囲の自然と調和した街並みは、日本人だけではなく訪日外国人にも人気があるようです。

一方、こうした日本の気候風土が育てた民家を、誰が修繕費を負担するかといった課題も浮き彫りになっています。相続等により所有者が不明確な場合や、所有者が明確でも修繕費の負担能力が無いなどの問題も出てきました。そうした問題も踏まえながら、今後更なる古民家再生・活用が期待される中、貴重な財産を守り、木のぬくもりを後世に伝えるために、いかに古民家を活用して経済的価値を創出していけるのか考え実践していくことが、ただのブームで終わらせない要因と言えるかも

しれません。

社員の 独り言

私はこの大阪支店では一番年下、若者のつもりでおりますが、今年で入社して二年目、嘆かわしい体型の変化を遂げております。なんとこの一年で体重が10kg近く増えてしまいました。久しぶりに会う友人はもちろん、毎日顔を合わせている妻にも「大丈夫？」と心配される始末です。私は小学校から高校生までサッカーをしており、高校時代の体脂肪率は8%！自分で言うのもなんですが、引き締まったスリムなスタイルを維持していました。あの頃は、10年もしないうちに、こんな中年おじさん体型に近づきつつある自分など、想像すらしませんでした(泣)。何より一番困っているのは、服のサイズが合わなくなっている事です。特にスーツに関しては、パンツが2着程破けてしまい、もう履けない状態に。先日スーツ姿の私に妻が「お尻の部分がめっちゃ食い込んでるけど、苦しくないん？」と言い、確かに若干スパッツ状態のスーツのパンツのシルエットの恥ずかしさに、ダイエットを決意しました。来月には毎年恒例、会社で受ける健康診断があるのですが、それに向けてせめてスーツが食い込まない体型を目指したいと思います。営業：N

底地・居付き、買います。

株式会社サンセイランディック 大阪支店
〒541-0046 大阪市中央区平野町3-6-1
あいおいニッセイ同和損保御堂筋ビル3階
TEL : 06-4706-0040 FAX : 06-4706-0045



底地くん

